

第5学年 国語科学習指導案

平成26年11月18日（5）校時
5年 2組 33名
授業者 新垣 志麻子
共同研究者 長嶺 樹 我喜屋 花子
 姫野 法之 伊計 義治
 新垣 貴子

【年間指導計画（5）学年（11）月計画 P（9）】

1 単元の概要

単元（題材）名 教材名		自然保護についての意見文を書こう 「世界遺産白神山地からの提言－意見文を書こう」教育出版 5年下
目 標		ある問題について、基礎的な知識を解説した文章を読んだり、異なる立場の人が意見を述べた文章を読んで比較したりして考えを深めることができる。
評価 規 準	国語への関心・意欲・態度	・「世界遺産白神山地からの提言－意見文を書こう」を読んで、自然保護について自分の考えを持ち、根拠に基づいて意見文を書こうとしている。
	書 く 能 力	・考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。〔B（1）ア〕
	読 む 能 力	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。〔C（1）ウ〕
	言語についての知識・理解・技能	・文章の中で語句と語句との関係を理解すること。〔伝国イ（オ）〕 ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。〔伝国イ（キ）〕
単元指導計画		＜全14時間＞ 第1次（1時間） 第1時……学習課題の意見文作成を知り、学習の計画を立て、見通しを持つ。〔関〕 第2次（6時間） 第2時……（1）を読み、世界遺産である白神山地はどんな所なのか読み取る。〔読〕 第3時……（2）を読み、（1）の文章と比べて、関係があるところをメモする。〔読〕 第4時……白神山地の自然保護の特徴を読み取る。〔読〕 第5時……文章構成図を完成させ、要旨をまとめる。〔読〕 第6・7時…三つの文章と資料からわかったことを整理し、課題のきっかけをつかむ。〔関〕 第3次（7時間） 第7時……自然保護の立場について自分の考えをメモする。〔書〕 第8時……自然保護の立場を考えながら、自分の考えをメモする。〔書〕 第9・10時…全員の考えを出し合い整理し、意見文を書くための準備をする。〔読〕 第11・12時…自分の考えを整理し、意見文を書く。〔書〕 第14時……発表会をもち、意見文を完成させる。〔関〕

2 単元について

（1）児童観
世界遺産白神山地からの提言－意見文を書こうでは、5年生で2回目の説明文である。国語学習についてのアンケートを実施したところ、「自分の考えや意見、感想を書くことができますか」という質問に対し、約8割の児童ができる・少しできると答えている。しかし、実際のところは根拠がなく、論理的文章として成り立っていないことが見受けられる。また、4月に行った標準学力調査の結果、物語や説明文について、「登場人物の気持ちを読み取ること」や「目的や必要に応じて文章の内容を読み取ること」においては、全国正答率62.6％に対して本校平均は73.9％にあり、全国平均を上回っていることが分かった。しかし、「目的や必要に応じて取材内容をまとめた文章を書くこと」においては、全国正答率56.5％に対して本校は48.5％と低いことから、資料を読み取って内容を整理し、自分の考えをまとめ表現する力が弱い傾向にあることが分かった。また、言語事項においても、個人差が見られるため、丁寧な指導を繰り返し行う必要がある。

（2）教材観
これまで、説明文を読む学習は文章要点を読み取ったり、文章構成を把握する学習を中心に進められてきた。本単元では、白神山地の自然保護について基礎的な知識を解説した文章を読んだり、異なる立場の人が意見を述べた文章を読んで比較したりすることによって考えを深め、自分の意見をまとめる学習を行う。単元後半では、自然保護に関する自分の意見をまとめ、自分の意見を書く学習を行う。自然保護の現場における現実的な情報にふれながら、情報を分類・整理し、事実や根拠に基づいて自分の意見をまとめ、わかりやすく述べる説明的表現力を高める学習を展開する。

（3）指導観
本単元には、「意見文を書こう」という言語活動を単元を貫いて位置づける。ここで取り上げる意見文に

は、本文の読み取り後、内容を整理し、自然保護についての自分の意見をまとめる。よって、本単元でねらう「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を実現するのにふさわしい言語活動であると考える。
単元の第1次では、学習課題として意見文を書くことを知らせ、学習の計画を立てることで、見通しを持たせるようにしたい。
第2次では、（1）、（2）、（3）の文章を読み取り、自然保護についての自分の考えを持つことができるようにしたい。その際には、「序論」「本論」「結論」の3つの構成に分けたり、基本文型を考えたり、説明文の学習用語についてもしっかりおさえたい。また、要旨のまとめ方の手順に沿って、自力で要旨まとめができるように、文章構成図に注目させるなど丁寧に指導したい。
第3次では、自然保護についての全員の考えを出し合い、比較・検討を重ねる。また、意見文を紹介し合うことで、色んな意見に触れさせ、さらに自分の考えを深めることができるようにしたい。

3 本時の学習指導について

- （1）目 標
- 文章構成図と要旨のまとめ方を理解し、筆者の主張から要旨をまとめる。
- （2）授業仮説
- 文章構成図を示し、要旨のまとめ方を生かすことによって、児童は筆者の言いたい主張を捉えやすくなるであろう。

4 本時の展開（第5時）

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価項目(方法)
導 入 (8)	1 前時までの学習を想起する。	・説明文全体の内容をおおまかに振り返る。 ・白神山地の自然保護の特徴について確認する。	
	(1) 音読する。		
展 開 (30分)	2 本時のめあてを確認する。	めあて 「筆者の主張をまとめよう」	
	3 文章構成図をつくる。	・形式段落ごとに関連する内容でつながりや関係性を図にまとめる。 ・事実と意見を意識させる。	【読む】 （概ね満足） 筆者の主張が書かれている段落に注目して、キーワードを抜き出し、要旨をまとめている。（ノート）
	4 要旨をまとめる。 (1) 要旨の意味とまとめ方の手順を理解する。	〈要旨まとめの手順〉 ①文章全体のまとめの段落を見つける。 ②その中で、筆者の主張が書かれた部分を見つける。 ③筆者の主張を分かりやすく短くまとめる。	
ま と め (7分)	(2) 個人で要旨をまとめる。	・文章構成図に着目させる。 ・キーワードを抜き出し、手順に沿って要旨をまとめる。	〈十分満足〉 筆者の主張が書かれている段落に注目して、キーワードを抜き出し、自力で要旨をまとめている。（ノート）
	(3) 全体で要旨をまとめる。	【努力を要する児童生徒への支援】 要旨まとめの手順を再度ふりかえさせる。 何について書かれているのかを考えさせる。 ・2～3人に発表をさせ、比較・検討を加えて全体で共有する。 ・キーワードが入っているか、抽象的な文章になっているかを確認する。	
ま と め (7分)	5 学習のまとめをする。	・要旨のまとめ方の手順の確認をする。 ・要旨を受けて、自然保護に対する自分の意見を持つことができるようにする。	
	6 次時の学習内容を確認する。	・白神山地の自然保護について整理し、自然保護に対しての自分の意見を書くことを知らせ、次時の意欲付けとする。	